



## 衆参両院で予算などの論戦続く

平成23年度予算案は、3月1日未明、衆議院を通過し、参議院では4日から予算委員会での審議が始まりました。一方、予算関連法案は、野党の抵抗によってなかなか審議が進みません。注目が集まっている子ども手当法案については、すでに衆議院本会議で2月24日、法案趣旨説明と各党からの質疑を受けましたが、まだ委員会審議は始まっていません。衆議院厚生労働委員会では、2月23日、細川大臣の所信表明が行われ、衆議院でやっとそれに対する質疑が行われたのみです。いずれにせよ、衆参のいわゆる「ねじれ」を背景にして、野党が審議を遅らせる戦術をとっているためですが、予算関連法案が年度内に成立しない場合、国民生活に対して重大な影響が予想されるので、大変心配です。野党としても、国民の生活を考えるなら、審議を遅らせたり、反対したりするばかりではなく、積極的に対案を出すなどして、建設的な議論をすべきではないでしょうか。



衆議院予算委員会にて

### 主婦の年金問題で激論

衆・参の予算委員会などで、専業主婦の国民年金に関する問題について、細川大臣が厚生労働行政の責任者と

して質疑を受け、論戦が続いています。

サラリーマンの専業主婦は、「第3号被保険者」と呼ばれ、保険料を支払わなくても将来年金の給付を受けられることになっています。しかし、例えば、ご主人が会社を辞め、自営業に転換したような場合、妻は保険料を支払う「第1号被保険者」に変わらなければなりません。ところが、この届けをしなかった場合、そのまま「第3号被保険者」として、保険料を払わない状態が続くこととなります。本来は、旧社会保険庁が、その人にきちんと事情を説明し、「第1号被保険者」に変えさせなければなりません。しかし、旧社保庁はそうしたことはせずに、「第3号被保険者」のままにしてしまったことに、この問題の原因があります。もちろん、申請をしなかった主婦にも責任がないとは言えませんが、だからといって無年金になることも問題です。



参議院予算委員会にて

そこで、昨年3月、これら本来は1号であるべきなのに、記録上3号になっている人については、すでに年金を受給している人はそのまま受給をしてもらい、まだ被保険者の人については過去2年より前の残りの期間はそ

のまま3号期間として認めるという運用に統一することを決め、これを「運用3号」と呼びました。

しかしながら、本来は保険料を払うべき人が支払わないまま年金を受給することになりますから、真面目に申請して保険料を払っている人からすれば、不公平極まりないことです。この運用が実施されたのは今年の1月ですが、2月に入るところから、マスコミや総務省の「年金業務監視委員会」から批判を浴び、さらに国会でも野党から激しく追及されました。

そこで、細川大臣は、このまま「運用3号」を続けるのではなく、一旦運用を留保した後、法改正によって救済することを決め、8日、その大枠を発表し、併せて、当該課長の更迭や自身の給与返納を含む処分を行いました。今後、詳細の議論が進むことになります。

## 4月に統一地方選

今年は4年に1度の統一地方選があります。越谷・草加の埼玉3区でも、4月の前半に県議選挙、後半に越谷市議選が行われます。

埼玉県議会議員選挙は4月1日告示、10日投開票の日程で行われます。民主党としては、南1区（草加市／定数3）では、現職の山川百合子さんを、東9区（越谷市／定数4）では、新人の山本正乃さんと細川威さんを公認し、この選挙に臨みます。

草加の山川さんは今回が3期目。越谷の両名は現在越谷市議であり、4人区としては埼玉県民主党初の2名公認です。現在、民主党に対し大変厳しい批判があり、どの予定候補者も苦戦が予想されます。選挙の準備に関しましては十分な協力をお願いいたします。

越谷市議選挙は、現在、民主党の公認・推薦の議員が6名のところ、2名が県議に挑戦するため、新人3名、元職1名で計8人の公認・推薦をすでに決定しています。

現職では、永井龍男さん（7期目）、玉生芳明さん（4期目）、大石美恵子さん（3期目）を公認、佐々木浩さん（5期目）を推薦しました。元職では、後藤孝江さん（4期目）を公認、新人では、高橋幸一さん、福田晃さんを公認、橋本哲寿さんを推薦しています。

## 小宮山副大臣を呼び講演会

民主党3区総支部は、2月22日、越谷市で恒例の3区セミナーを開催し、小宮山洋子厚生労働副大臣を招き、

統一地方選挙に向けた政治課題について話を聞きました。世間で考えられているよりずっとマニフェストが実行され、政権交代の成果が上がりつつあることなど、説得力のある講演に対し、統一選の予定候補者をはじめ、会場に集まった皆さんは大いに励まされました。この日は、多忙で滅多に地元に戻れない細川大臣も主催者代表として駆け付け、挨拶をしました。



主催者挨拶をする細川厚労大臣



小宮山厚労副大臣の講演

細川律夫より一言

春が近づきました。おえ気でしょか。  
来年度の予算案を参議院で審議しているから「運用3号」由題で連日厳しい質問を受けている。元気で頑張ります。